

刈谷高等学校特色選抜の実施にあたり

本校は「質実剛健」を校訓として、大正8年に愛知県立第八中学校として開校しました。以来、今日に至るまで、多くの俊秀を集めて訓育に努め、有為な人材を輩出してまいりました。政財界はもとより、文化、芸術、科学等、国内外のさまざまな分野において、本校の卒業生がめざましい活躍をしております。

これらはひとえに、歴代生徒の頑張りは言うまでもなく、加えて在校中における教職員の熱心な指導と、保護者、同窓会並びに地域の皆様の温かい支援のたまものであると感じているところです。

今日の我が国は、世界の中で重要な地位を占めており、国際社会のリーダーとしての役割を果たしていくことへの期待がますます高まっております。このような時代にあって本校に期待されるのは、世界を視野に入れて活躍することのできる心豊かでたくましい人材を育成することです。そのために本校は、文武両道の教育を実践しつつ、英国イートン校、豪州ウィンドルーバレー校との定期的な交流をはじめとする国際交流事業、12年目を迎えたスーパー・サイエンス・ハイスクール（SSH）事業など、時代の要請に応える教育の実践を怠ることなく進めてまいりました。その結果、大学進学における成果とともに、社会に出てから遭遇するであろう難解な課題に対して、ひるむことなく立ち向かえる力を備えることができているのではないかと自負しております。

私たちは、この誇るべき伝統をさらに輝かしいものとするために、心を合わせて今後も教育活動に取り組んでまいりますが、そのことはこれまでの継続のみで得られることはできないと感じます。新しい時代を創っていく教育を行うにあたって、本校の更なる発展を目指していきたいと思っております。特色選抜の実施はその一策として令和5年度入学者選抜から実施するものであります。

この選抜で入学する生徒は、優れた英語能力と自然科学分野での顕著な研究実績を有し、国際的な視野をもったサイエンスリーダーとして、他の生徒と協働して大いなる成果の達成に導くたくましさを備えた生徒であることを想定しています。受検生の皆さんには、こうした特色選抜の趣旨を理解し、3年間の高校生活を通し、本校をけん引していくという強い意欲をもって特色選抜に挑戦してくれることを期待しています。

令和4年6月24日

愛知県立刈谷高等学校長

坪井基紀

刈谷高等学校特色選抜の基本方針・基本事項

1 ねらい

本校が実施する特色選抜では、中学校の自然科学分野での学習実績や英語能力を踏まえ本校で学ぶ目的が明確になっている生徒を選抜する。特に、中高の接続と本校のスーパー・サイエンス・ハイスクール（SSH）事業をもとにした特色ある教育活動に取り組む意欲と基礎学力を重視し、将来のグローバルサイエンスリーダーとしての探究心、自律心、論理的思考力・表現力を備えている人を選抜する。

2 出願要件

次の(1)及び(2)をともに満たす者

(1) 中学校時代に自然科学分野の研究に関する校外のコンクール等において、グループの受賞の原動力となった者、または、個人で受賞した者（※1）

（※1）主催者、研究内容等の受賞内容を志望理由書及び調査書に必ず記載すること。

(2) 実用英語技能検定2級以上の合格者（又はCEFR B1レベル相当以上の資格やスコアを取得している者）（※2）

（※2）実用英語技能検定の合格級（又はCEFR B1レベル相当以上の資格やスコア）

及び合格（又は取得）年月日を志望理由書及び調査書に必ず記載すること。

3 募集定員枠

10人程度を上限とする

4 選抜方法

(1) 提出書類

(2) 面接

(3) プレゼンテーション

5 提出書類

(1) 入学願書（受検生が作成）

(2) 志望理由書（受検生が作成）

(3) 調査書（中学校が作成）

(4) プレゼンテーション資料（受検生が作成）